



# 子どもたちが受け継ぐ地域の踊り

連載  
おおむた自慢

大牟田の踊りといえば、炭坑節や大蛇山の女神輿踊りが有名ですが、他にも昔から地域に根ざした踊りがあります。今回は、子どもたちが、地域の方々から受け継いでいるユニークな踊りを3つ紹介します。



提供 手鎌小学校

## がたいねおどり (手鎌・黒崎地区)

手鎌・黒崎周辺では、明治以前から干拓事業が促進され、干拓地を田畑に変えて農業が発展してきました。何度も災害、暴風雨に見舞われ、堤防決壊の難のたびに、多くの人たちが補修し、苦労して従事してきました。その人たちが働きながら歌ってきたのが、がたいね民謡と踊りです。

手鎌小学校の5年生が、地域の保存会の方から総合学習で教わり、手鎌地区公民館の文化祭などで披露しています。

## 米はかりおどり (玉川地区)

江戸幕府の直轄の天領地であった玉川地区では、農民は厳しい年貢の取り立てに苦労していました。上納米を納める際の代官の厳しい検査の様子やユーモラスなやり取りが踊りとして伝えられています。農民の辛さや苦しさとともに、たくましさや喜びも感じられます。

玉川小学校の児童が、米作りの体験とともに、地域の方からこの踊りを引き継ぎ、学習発表会のときに披露しています。



提供  
玉川小学校



## ぜんでこ踊りとひゅうたん廻し (上内地区)



提供 市秘書広報課



江戸時代から上内の岡天満宮に奉納されていた踊り。「ぜんでこ」は娘踊りで、田植えから刈り入れまでの稲作の動作を象形化したもので、「ひゅうたん廻し」は、お宮まいりの時に酒に酔った男がひさご（酒の入った瓢箪）を片手にフラフラ踊り出した様子を踊りにしたものだ。地域の子どもたちが、大人から引き継ぎ、こっけいでおおらかな仕草を見事に踊ります。毎年9月25日、岡天満宮に奉納されます。

編集後記

「おおむた市議会だより」の編集に携わり2年。はじめは縦書きか横書きかの議論からはじまり、表紙の写真撮りや議員の横顔紹介、大牟田自慢の特集、表裏のカラー化など、よりよい紙面づくりを目指し取り組んできました。毎号、印刷が出来上がってくるのが楽しみでもあり、不安でもあります。市民の皆さんにも楽しんでいただける「おおむた市議会だより」となるよう、これからも頑張ります。(R)

### 編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子

【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

### 発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800

FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp